

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第4回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	令和2年3月18日(水) 午後6時00分から 午後7時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所第301会議室
出席委員(者)氏名	手塚崇子委員(会長)、中野智恵子委員、大月浩史委員、熊木崇人委員、石間太郎委員、五十嵐修委員
欠席委員(者)氏名	新井一弘委員、吉岡弘美委員
担当課職員職氏名	こども福祉部子育て支援課長 桜井健一 こども福祉部保育幼稚園課長 島村善和 こども福祉部保育幼稚園課 課長補佐兼保育幼稚園係長 宮田匡寿 こども福祉部保育幼稚園課 課長補佐兼施設運営係長 三宅一規 こども福祉部子育て支援課 課長補佐兼子ども給付係長 飯野耕太郎 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係長 青柳乃り恵 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係主事 石井賢聖 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係主事 今関夕貴 こども福祉部障がい福祉課 障がい福祉係主査 薄田千枝子 健康長寿部健康増進課 母子保健係長 稲見絹子
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) パブリックコメント実施報告について (2) 第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画(案)について 4 その他 (1) 令和2年度児童福祉に関する予算と事業の概要について (2) その他 5 閉会 ※ すべて公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍 聴 者 の 数	なし
会 議 資 料 の 名 称	・資料1 第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画(案) ・資料2 令和2年度児童福祉に関する予算と事業の概要
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	石間委員、中野委員
そ の 他 の 必 要 事 項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

<p>事務局</p>	<p>資料の確認</p> <p><b>1. 開会</b></p> <p>開会の宣言</p> <p><b>2. あいさつ</b></p> <p>子育て支援課長あいさつ</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p><b>3. 議事</b></p> <p><b>(1) パブリックコメントの実施について</b></p> <p>(担当課より説明)</p> <p>令和2年2月3日(月)から3月2日(月)まで、市内公共施設及びホームページで募集したところ、結果は0件であった。</p> <p><b>(2) 第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画案について</b></p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p><b>資料1 第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画(案)</b></p> <p>パブリックコメントの意見がなかったため、大幅な変更箇所はなし。案について承認を頂きたい。</p>
<p>委員</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>23頁 認定こども園及び幼稚園の量の見込みと確保方策について、表は何を示しているのか。</p>
<p>担当課</p>	<p>「量の見込み」については、認定こども園や幼稚園に通いたいという児童数の見込み数、また「確保方策」については市内の施設で受け入れ可能な容量となっている。例えば、令和2年度については、515人受け入れに余裕があり不足数は生じていない。</p>
<p>委員</p>	<p>27頁 利用者支援事業については、保育コンシェルジュ、子育て支援コーディネータ、子育て世代包括支援センターなど様々な取り組みをされている。横のつながりがあるということは、切れ目のない支</p>

	<p>援に繋がり、安心して子育てができるのではないかと感じている。育児放棄や児童虐待、親の貧困問題などを抱える家庭が多い中、相談できる場所があるというのは、保護者にとって強い味方になると感じている。</p> <p>また、30頁にある乳幼児家庭全戸訪問や養育支援訪問事業についても、非常に有効な施策と評価している。</p>
委員	<p>幼児教育・保育の無償化に係る副食費について、市の取り組みを知りたい。</p>
担当課	<p>保育所に通われている所得の低い家庭の3歳から5歳までの児童は、副食費が免除となっている。しかし、幼稚園に通われている児童は制度上対象となっていない。そのため、国や県の補助金を活用しながら、同様の支援が受けられるよう、月額4,500円を上限とし、市が対応をしている。</p>
委員	<p>25頁 認定こども園及び認可保育所について、量の見込みが昨年度より増加している。この数値をどのように捉えたらいいのか。見込み数の算出方法を知りたい。</p>
担当課	<p>量の見込みについては、先ず現状の親の就労状況と保育所に入所している児童の割合を整理し、その上で、平成30年度に実施した「子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査」から就労意向の数値を勘案し算出している。また、ベースには人口推計があり、その数値を掛け合わせながら、最終年度に就労意向の最大値が来るイメージで作成している。今後、現状との大きな乖離が生じた場合は、計画の見直しも視野に入れている。</p>
委員	<p>36頁(2) その他の一時預かりについて、令和元年度の数値が前年度より大幅に減少しているのはなぜか。</p>

担当課	一時預かりは公立保育所と民間保育所で実施している事業である。しかし、今年度については、建て替えで第二保育所が開設していないため、見込み数が減少している。
事務局	<b>4. その他</b>
担当課	<b>(1) 令和2年度児童福祉に関する予算と概要について</b> (担当課より資料について説明)
	(質疑応答)
委員	予算については、議会で決定しているのか。
担当課	議会で承認を得ている。
委員	児童ショートステイ事業について、利用する際は児童相談所を経由するのか。
担当課	市が乳児院2か所と契約している。児童相談所は通さず、市が直接申請を受け付けている。
委員	ひとり親家庭等自立支援事業について、申請の基準や線引きはあるのか。
担当課	世帯の所得制限があり、申請の際に審査している。
委員	市に認定こども園は何か所あるのか。
担当課	認定こども園については、施設型給付事業で予算を計上しており、施設数については市内に1箇所である。保育無償化導入前は、各園が保育料を徴収し、差額分を市が負担していたが、無償化が始まり、園に利用料が入らなくなった分を市が負担しているため、予算額は3千

	万円程度増加している。
委員	発達障がい児支援事業の詳細を知りたい。
担当課	市内の幼稚園、保育園、認定こども園に松伏町にある中川の郷養育支援センターの専門職が訪問し、発達面で心配な児童の様子や行動を観察し、児童に合った支援についてクラス担任などへ助言するもの。
委員	支援を受ける際は、園側が申請しているのか。また、その訪問の際に、障がい児として認定しているのか。
事務局	この事業を希望する園に対し実施しているもの。訪問の際、障がい児として、認定するということはない。なお、この事業は、診断を受けている・受けていないに関わらず、発達面で気になる児童を対象に行動観察から支援内容の助言まで、児童1人につき1時間程度の時間で実施している。
委員	保護者の承諾を得ているのか。
事務局	個別に承諾を得ていないが、発達面の専門職が園に立ち入ることがあるとのお知らせを、保護者全員に文書で輩出している。
委員	年間の利用実績を知りたい。
担当課	1回の訪問で、3人までの児童を見ている。詳細な市内の園は22か所あるため、年間で60人程度利用している。
委員	事業計画については、園側で作成しているのか。
担当課	各園での対応となるため、市は把握していない。

委員	<p>保育園などの集団に属していない場合、発達面が心配な児童をどのような方法で把握しているのか。</p>
担当課	<p>市内の保育園から連絡される場合もあるが、主に保健センターで健診の際に把握している。その際は、発育・発達相談に案内している。</p> <p>また、発達障がい児支援事業の一環として、子育て支援センターで行われている中川の郷巡回相談も、窓口として活用している。</p>
事務局	<p><b>(2) その他</b></p> <p>・ <b>緊急子ども配食、新型コロナウイルス対応における市の対応について</b></p> <p>(担当課から説明)</p> <p>(質疑応答)</p>
委員	<p>市の対応はどのようなシミュレーションをしているのか。また市民へ情報発信する方法は。</p>
事務局	<p>管理職がメンバーとなり、現在まで6回ほど対策会議を開いているが、今後も社会情勢に応じて対応していきたい。情報はホームページにおいて発表している。</p>
委員	<p>来年度については、令和2年8月及び令和3年3月の年2回実施する予定である。今後とも引き続き協力をお願いしたい。</p> <p><b>5. 閉会</b></p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 2年 3月 30日</p> <p>署名委員 石間 太郎 自署                      署名委員 中野 智恵子 自署</p>	

